



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社ショーエイコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 9385 URL <https://www.shoei-corp.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 芝原 英司
問合せ先責任者（役職名） 取締役 管理部門担当（氏名） 稲谷 和樹 TEL 06-6233-2636
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	9,322	△3.0	610	35.5	610	—	396	—
2025年3月期中間期	9,612	△1.2	450	35.0	△396	—	△455	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 391百万円（—％） 2025年3月期中間期 △338百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	51.25	—
2025年3月期中間期	△58.90	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期中間期	10,787	4,513	41.8	584.09
2025年3月期	10,433	4,276	41.0	553.47

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 4,513百万円 2025年3月期 4,276百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	20,545	8.0	1,401	87.4	1,332	78.3	900	92.7	116.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	7,850,000株	2025年3月期	7,850,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	122,736株	2025年3月期	122,736株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	7,727,264株	2025年3月期中間期	7,727,264株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期（中間期）決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、物価上昇等の影響による個人消費の停滞が続いている中で、雇用や所得環境の改善や各種政策の効果により緩やかな回復基調にありました。一方、米国の通商政策の影響による景気下振れリスクに加え、実質賃金の伸び悩みが個人消費に影響し景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、原料価格の高騰、物流コストや輸入仕入価格の上昇といった厳しい事業環境が続いております。そのような中、収益性を高める体質に変革を進めており、高付加価値商品の開発、仕入調達ルートが多角化、継続的な投資といった収益改善策を継続しつつ、お客様の要望をくみ取り応えるサービスを提供することに集中し、総合支援メーカーとして、当社グループの総力を結集し企業価値を高めてまいります。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は9,322百万円(前年同期比3.0%減)となりましたが、利益面につきましては、原価改善に努めつつ、高付加価値商品の提供や複合販売に注力した結果、営業利益は610百万円(前年同期比35.5%増)、経常利益は610百万円(前年同期は396百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純利益は396百万円(前年同期は455百万円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(営業促進支援事業)

当セグメントにつきましては、お客様自身の営業を一層促進していただくために、商品や販促品の企画開発から、アSEMBリなどの生産支援、配送にいたるまで商品・サービスの提供をする事業であります。

資材や販促品キャンペーンを軸とする販売については、高付加価値商品のリピートはあるものの、販促企画案件について大口の減少を新案件で穴埋めできなかったことで前年同期を下回りました。OEMについては、自社工場を活用した雑貨や化粧品等のピロー包装やアSEMBリ作業は増加、また日用雑貨品の充填等についてもエンドユーザーへの複合販売を強化したことで好調に推移しており前年同期を大きく上回りました。発送代行については、ECへの移行といった環境の変化による通数の減少があったものの、ゆうメール案件数の増加があり前年同期を上回りました。しかし収益認識基準による相殺額の増加により売上への寄与が小さくなったことから結果的には前年同期を下回りました。

利益面につきましては、高付加価値商品の販売が拡大したこと、またアSEMBリ案件の増加に伴う自社工場の稼働率が高かったことから、セグメント利益額、利益率ともに増加いたしました。

その結果、売上高は4,706百万円(前年同期比1.2%増)、セグメント利益は314百万円(前年同期比81.5%増)となりました。

(商品販売事業)

当セグメントにつきましては、100円ショップ、ドラッグストアなどの小売販売店に向けて、商品を企画提案し、製造・調達し、提供する事業であります。

100円ショップ向けについては、環境対応型商品の投入や消臭袋及び鮮度保持袋に代表される付加価値の高いポリエチレン製品を中心として堅調に推移し、また新商品において機能性・利便性・アイディア性といった付加価値の高い雑貨商品の売上も好調でありました。しかしながら、定番商品において為替や原材料価格、人件費の高騰に対応すべく商品の仕様変更を進めていったことで、原価の改善には寄与したものの売上高は前年同期を下回りました。量販店向けについては、販路開拓は進めており、ポリ製品は100円ショップ向け同様安定した売上があるものの、収益性を高める方針のもと低利益率の商品の販売を縮小していることが影響し前年同期を下回りました。

利益面につきましては、より収益性の高い商品や市場価値に合った商品の投入を引き続き進めていったこと、またサプライヤーの多角化を行うといった原価低減に努めたことから、セグメント利益額、利益率ともに増加いたしました。

その結果、売上高は4,664百万円(前年同期比7.5%減)、セグメント利益は296百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は10,787百万円となり、前連結会計年度末に比べ353百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金や投資その他の資産等が増加したことによるものであります。

当中間連結会計期間末の負債合計は6,273百万円となり、前連結会計年度末に比べ116百万円増加しました。これは主に長期借入金等が減少したものの、短期借入金や未払法人税等が増加したことによるものであります。

当中間連結会計期間末の純資産は4,513百万円となり、前連結会計年度末に比べ236百万円増加しました。これは主に利益剰余金等が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,110,707	1,090,057
受取手形及び売掛金	2,363,294	2,493,051
電子記録債権	701,026	633,964
商品及び製品	1,692,345	1,672,418
仕掛品	170,947	244,639
原材料及び貯蔵品	399,696	414,038
その他	198,540	221,612
貸倒引当金	△3,765	△3,784
流動資産合計	6,632,794	6,765,998
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,510,513	1,483,013
その他(純額)	1,262,785	1,267,052
有形固定資産合計	2,773,299	2,750,066
無形固定資産		
その他	48,733	113,467
無形固定資産合計	48,733	113,467
投資その他の資産		
その他	1,017,603	1,196,301
貸倒引当金	△38,800	△38,628
投資その他の資産合計	978,803	1,157,673
固定資産合計	3,800,836	4,021,207
資産合計	10,433,630	10,787,206
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,118,716	1,117,350
短期借入金	2,330,000	2,430,000
1年内返済予定の長期借入金	312,357	320,527
未払法人税等	120,997	223,048
未払消費税等	58,100	63,606
賞与引当金	122,779	141,525
その他	425,886	455,481
流動負債合計	4,488,837	4,751,538

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
固定負債		
長期借入金	1,110,841	963,747
退職給付に係る負債	60,655	52,648
長期未払金	137,022	137,022
その他	359,461	368,850
固定負債合計	1,667,979	1,522,268
負債合計	6,156,816	6,273,806
純資産の部		
株主資本		
資本金	715,615	715,615
資本剰余金	807,752	807,752
利益剰余金	2,238,836	2,480,290
自己株式	△56,918	△56,918
株主資本合計	3,705,285	3,946,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	211,542	254,610
繰延ヘッジ損益	△1,308	8,274
為替換算調整勘定	361,294	303,773
その他の包括利益累計額合計	571,528	566,658
純資産合計	4,276,814	4,513,399
負債純資産合計	10,433,630	10,787,206

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	9,612,775	9,322,690
売上原価	7,443,168	7,009,274
売上総利益	2,169,607	2,313,415
販売費及び一般管理費	1,718,974	1,702,980
営業利益	450,632	610,434
営業外収益		
受取利息	777	421
受取配当金	5,779	26,584
為替差益	10,453	3,599
資材売却収入	2,664	2,715
その他	3,452	3,577
営業外収益合計	23,127	36,897
営業外費用		
支払利息	12,830	31,402
貸倒引当金繰入額	△1,569	0
デリバティブ評価損	853,860	—
その他	5,461	5,802
営業外費用合計	870,583	37,204
経常利益又は経常損失(△)	△396,822	610,127
特別利益		
固定資産売却益	196	—
特別利益合計	196	—
特別損失		
固定資産除却損	2,865	13,207
特別損失合計	2,865	13,207
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△399,491	596,919
法人税、住民税及び事業税	25,828	205,125
法人税等調整額	29,844	△4,206
法人税等合計	55,672	200,919
中間純利益又は中間純損失(△)	△455,164	396,000
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△455,164	396,000

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△455,164	396,000
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,623	43,068
繰延ヘッジ損益	△11,476	9,582
為替換算調整勘定	67,680	△57,520
その他の包括利益合計	116,827	△4,869
中間包括利益	△338,336	391,130
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△338,336	391,130

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△399,491	596,919
減価償却費	89,529	112,906
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△18,506	△153
賞与引当金の増減額(△は減少)	18,739	18,772
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	29,984	△24,288
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,706	△6,998
受取利息及び受取配当金	△6,557	△27,005
支払利息	12,830	31,402
固定資産除却損	2,865	13,207
固定資産売却損益(△は益)	△196	—
デリバティブ評価損益(△は益)	835,117	△2,982
売上債権の増減額(△は増加)	319,452	△46,080
棚卸資産の増減額(△は増加)	△61,025	△89,950
仕入債務の増減額(△は減少)	44,712	△23,171
未払消費税等の増減額(△は減少)	△26,886	5,505
その他	△48,306	6,075
小計	793,966	564,158
利息及び配当金の受取額	6,557	27,005
利息の支払額	△12,975	△31,738
法人税等の支払額	△295,527	△109,996
法人税等の還付額	9,106	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	501,127	449,430
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△80,856	△80,554
有形固定資産の売却による収入	196	—
無形固定資産の取得による支出	△2,252	△69,220
投資有価証券の取得による支出	△7,569	△7,790
差入保証金の差入による支出	△3,531	△88,301
差入保証金の回収による収入	28	2,607
資産除去債務の履行による支出	—	△5,350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93,985	△248,608

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	13,000	100,000
長期借入れによる収入	—	60,000
長期借入金の返済による支出	△98,252	△158,316
リース債務の返済による支出	△39,078	△49,221
配当金の支払額	△154,365	△154,798
財務活動によるキャッシュ・フロー	△278,696	△202,336
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,571	△19,134
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	134,016	△20,649
現金及び現金同等物の期首残高	854,675	1,110,707
現金及び現金同等物の中間期末残高	988,691	1,090,057

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計
	営業促進支援事業	商品販売事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,652,563	4,960,212	9,612,775	9,612,775
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	80,974	80,974	80,974
計	4,652,563	5,041,186	9,693,749	9,693,749
セグメント利益	173,105	277,526	450,632	450,632

(注) 報告セグメントの利益の金額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しており差額はありません。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計
	営業促進支援事業	商品販売事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,706,739	4,615,950	9,322,690	9,322,690
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	48,241	48,241	48,241
計	4,706,739	4,664,191	9,370,931	9,370,931
セグメント利益	314,253	296,181	610,434	610,434

(注) 報告セグメントの利益の金額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しており差額はありません。